

はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点
平成 25 年度 活動実績報告書

1. 拠点の活動内容

下記提案機関により浜松地域の特徴を活かし、異分野、他分野の融合によるハイレベルなアウトカムをめざし、「医工連携・産学連携・地域連携」を進めている。

【提案機関】

【産】浜松商工会議所（医工連携研究会）、（公財）浜松地域イノベーション推進機構

【学】浜松医科大学、光産業創成大学院大学、静岡大学

【官】静岡県、浜松市

1-1. 装置・機器の活用

PET/CT 装置、サイクロトロン、GMP ホットセル等を用いて、臨床研究対象となる 1213 件の PET 撮影を実施した。なお、撮影した画像データを他の医用画像診断と関連づけて評価することにより、ガンの早期診断および治療経過評価のデータベースとし臨床研究を行うため、光産業創成大学院大学、浜松市内企業（㈱システムエッジ、テガラ㈱）、浜松医科大学附属病院による共同研究において「エキスパートシステム(医学用データベース)」を構築している。平成 25 年度は、大学の経費を投じて、PET/CT 装置の撮像結果を附属病院内の放射線画像システムに自動的に移動できるようシステムの改変を行った。

新規 PET 装置（浜松ホトニクス㈱との共同研究により開発、スーパー特区課題、産学官共同研究センター・サイクロトロン棟に設置）について、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）と浜松医科大学、浜松ホトニクス㈱は、平成 25 年 9 月 5

平成25年度 研究機器使用実績					
静岡県「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点」					
機器番号	研究機器名称	回数(回)			設置場所
		年計	(有料)	(無料)	
1	PET/CT装置	1213	1213		浜松医科大学
2	GMP用ホットセル	30		30	浜松医科大学
4	ピコ秒レーザー加工システム	141	43	98	浜松工業技術支援センター
5	ファイバーレーザー加工システム	58	9	49	浜松工業技術支援センター
6	半導体レーザーシステム	18	0	18	浜松工業技術支援センター
7	試料観察用顕微鏡システム	179	89	90	浜松工業技術支援センター
8	サイクロトロンシステム	222	144	78	浜松医科大学 (PET/CT装置に含む)
9	手術台システム	51		51	浜松医科大学
10	手術用无影灯	45		45	浜松医科大学
13	動物飼育設備	35		35	浜松医科大学
14	微量高速遠心機	46		46	浜松医科大学
15	RIドーズキャリプレート 一式	104		104	浜松医科大学
16	精密測定天秤	248		248	浜松医科大学
17	真空ポンプシステム	65		65	浜松医科大学

日、新型頭部用 PET 診断装置と、認知機能 PET イメージング用の試薬を開発したとプレス発表（http://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_100223.html）した。この PET 装置の有用性および操作性の検証は、JST より無償貸与を受けているサイクロトロン、GMP ホットセル等を活用し、浜松医科大学倫理委員会の承認を得て、ヒトでのデータ取得により行っている。

手術台、無影灯等は、手術ナビゲーション装置、手術用立体内視鏡、内視鏡手術用超音波診断装置（以上、スーパー特区課題）の開発に必要なデータ取得や条件設定を行う目的で、地域企業との共同研究において活用している。なお、内視鏡手術用超音波診断装置は、平成25年5月14日、医薬品医療機器総合機構（PMDA）で薬事戦略相談対面助言を受け、クラスⅢの承認申請の方針が受け入れられた。なお、手術台、無影灯等を使用した研究開発から2件の特許（立体視硬性内視鏡 特願 2013-157205；可動支持アーム装置 特願 2014-067392）が出願された。

レーザー関連装置（レーザー加工装置、顕微鏡）は、成長が期待できる医療・健康分野へ新たに進出を目指す輸送用機器製造業を中心とする地域の中小企業に活用されている。

より一層の活用を促進するため、浜松工業技術支援センターが技術相談・指導等を行うとともに、光産業創成大学院大学の活動の中で企業との医療・健康分野への応用のための試験や事業化の検討を行った。装置活用促進においては、3つの大きな活動を行った。光産業創成大学院大学の主催により、レーザーを扱える企業を増やすための「レーザーによるものづくり未検討者向けセミナー」を開催した。さらに、医療分野等で光技術を活用できる人材を育成するため、光産業創成大学院大学と浜松工業技術支援センターを実施機関として「レーザーによるものづくり中核人材育成講座」を開催し、企業内の技術者養成を行った。そして、これに関連した講師企業（1件）や、参加者企業（2件）とレーザーを用いた医療用部品製作技術の開発や、製作の検討を進めている。

研究開発では、光産業創成大学院大学が（独）科学技術振興機構の平成24年第2回「研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）探索タイプの採択を受け、当該レーザー関連装置を用いて「レーザーによる立体造形と表面加工技術」に関する研究（テーマ名：高い生体親和性を付加するためのレーザーによる立体造形と表面加工技術の研究）を行った。これにより、表面加工のための加工ヘッドを製作した。今後もパートナー企業の確保とともに、応用のための研究を進める。

1-2. 施設の活用

産学官共同研究センター・サイクロトロン棟内に設置したレンタルラボ2室は、浜松ホトニクス㈱と㈱ゾディアックの地域企業2社がレンタルし活用している。浜松ホトニクス㈱は、浜松医科大学との共同開発成果である「新規 PET 装置」を、さらに改良開発しデータ取得を行うために活用し、㈱ゾディアックは文部科学省橋渡し研究プログラムにより浜松医科大学と共同開発している手術ナビゲーション装置および立体内視鏡開発、また経済産業省戦略的基盤技術高度化支援事業における低侵襲内視鏡および顕微鏡手術支援3D超音波診断装置の開発を推進するために活用している。

産学官共同研究センター・PET-CT棟2F会議室では、月1回開催される拠点運営会議ワーキングの会議、月2回開催される拠点事務局会議を開催し活用した他、産学官連携の打ち合わせ、施設訪問団体への説明などに活用した。

1-3. 対外的活動

1-3-1. セミナー・講習会等の開催

当報告書の「7. 普及活動」に記したように、地域企業を対象とした健康医療産業への参入セミナー（2回）、現場医師との情報交換会（2回）、医療現場見学会（合計7回）等を実施し、浜松商工会議所医工連携研究会（130社）と強力に連携しながら、本拠点の有する設備の紹介や医療現場でのニーズの発掘を行った。また、年1回の拠点の中心的イベントである「メディカルイノベーションフォーラム2014」を平成26年2月27日に浜松市で開催し（112名参加）基調講演「想像する創造 ～未来をつくる道～」(講師：公立大学法人名古屋市立大学大学院 芸術工学研究科 教授、附属 環境デザイン研究所 所長 國本 桂史氏) およびパネルディスカッション「新しいアプローチで医療機器を開発する」を行った。

1-3-2. 事業実施

○医工連携スタートアップ支援事業【公益財団法人静岡県産業振興財団 平成25年度新成長産業戦略的育成事業】

医療や介護の現場の課題やニーズを解決する新しい医工連携プロジェクトを推進するために、「アイデアの実現性の検証」を行う支援事業を行っている(公益財団法人静岡県産業振興財団平成25年度新成長産業戦略的育成事業に応募し採択され実施している)。医療現場で必要とされている開発案件の事業化への第一歩として、「アイデアの実現性の検証」が必要な課題について、拠点が実現可能な技術を有する地域企業に「アイデアの実現性の検証」を委託し、次の公的資金の申請に向けた開発のスタートアップを図るために、1課題30万円、8件を公募の上で選定し支援した。

平成25年度採択課題

- ① 鉗子(手術用器具)開発におけるベンチマークの設定
- ② 鉗子の製作における小ロット対応及び自動化への研究
- ③ 数回掴み直しができる内視鏡糸付クリップの製造開発
- ④ 医療用ハサミ(剪刃)の機器加工製造にむけての研究
- ⑤ 近赤外光による小型リアルタイム血流確認装置の開発
- ⑥ 医療用内視鏡の先端キャップの試作開発
- ⑦ 救急医療用マットの開発
- ⑧ 光技術を応用した医療用透明チューブの欠陥検出センサ開発

なお、この事業成果は、今後より大きな公的資金獲得に向けて、さらに支援を継続する予定である。

○医工連携出合いのサロン【公益財団法人静岡県産業振興財団 平成25年度新成長産業戦略的育成事業】

静岡県内で創出された医療関連機器や器具などを全国の医療関係者に紹介し、商品に対する意見を聴取するイベントを企画・開催する。医療機器関連の展示イベントを開催しても実際に利用する現場医師は多忙であり、イベント会場を訪れることはほとんどない。そこで、全国の医師が集まる医学系の学会に付設する形で、静岡県内で開発された商品を紹介する展示会を開催し、商品PRをするとともに、現場医師から商品に対する評価や意見などを直接聴取する機会を提供した。

【出展学会】

第 54 回日本人間ドック学会学術大会

日時：平成 25 年 8 月 29 日(木)～30 日(金) 9:00～17:00

場所：アクトシティ浜松・ホテルオークラアクトシティ浜松

対象：人間ドックに関わる医療関係者（医師・看護師・薬剤師等）

平成 25 年 8 月 29 日（木）～30 日（金）までの 2 日間 企業展示会場において出展料支援、出展支援を行い、静岡県内に本社や主たる事業所を有する中小企業者を対象として 6 ブース出展した。また、医工連携マッチング（出展企業が希望する他の出展企業との面談）の設定・支援し、8 月 29 日（木）：4 社 8 月 30 日（金）：4 社との面談を仲介した。

同時に、拠点の周知活動を推進するため、ファルマバレーセンターと共にはままつ次世代光・健康医療産業創出拠点の活動展示を行った。

その結果、全国の人間ドックに関わる医療関係者に、静岡県内で開発された商品を紹介し、商品 PR をするとともに、現場医師から商品に対する評価や意見などを直接聴取する機会となった。

○大型イメージング装置のデモンストレーション

PET、MRI、CT など、研究用大型イメージング装置を、地域（学外）の大学、研究所、企業に活用してもらうために、拠点で準備した対象物や持ち込みサンプルを撮像し、デモンストレーションやトライアルユースを行った。また、企業の技術相談に対応し、研究開発に必要な 3 次元データ取得に関して検討し助言した。

○その他 協同組合 HAMING の事業化検討支援

HAMING とは、Hamamatsu Medical Innovative Group（浜松医療先進グループ）を意味し、浜松地域の中小企業が中心となり、“医療・健康・福祉機器の開発・製造”を目的として集まった協同組合（<http://www.haming.wrng.jp/>）であり、参加企業は、橋本エンジニアリング(株)、(株)榛葉鉄工所、(有)岩倉溶接工業所、橋本螺子(株)の 4 社をいう。

平成 24 年 10 月 23 日参加企業 4 社により協同組合 HAMING の創立総会が行われ、正式に協同組合が発足した。拠点長・吉田勝治を中心に、拠点は、浜松地域イノベーション推進機構および浜松商工会議所・浜松医工連携研究会と共に、協同組合の発足まで尽力した。平成 25 年度は、今後この協同組合が持つ技術をどのように医療に展開していくかを検討するため、事業化検討会議を 2 回開催した。事業展開に有益な意見を聴取するため有識者を招聘し意見交換を行った。

2. 次年度の活動目標

○医工連携スタートアップ支援事業【公益財団法人静岡県産業振興財団 平成 26 年度新成長産業戦略的育成事業】

今年度に引き続き、医療現場の課題やニーズを解決する新しい医工連携プロジェクトを推進するために、事業化可能性の高いアイデアを有する地域の中小企業に対して、本格的な研究開発のための公的資金や競争的資金の申請に向けた「アイデアの実現性の検証」を委託し、医工連携のスタートアップを図る事業を実施する。採択課題は 8 課題を予定し、公益財団法人静岡県産

業振興財団 平成 26 年度新成長産業戦略的育成事業に申請を行い採択された。

○医工連携 出会いのサロン【公益財団法人静岡県産業振興財団 平成 26 年度新成長産業戦略的育成事業】

今年度に引き続き、全国の医師が集まる医学系の学会に付設する形で、静岡県内で開発された商品を紹介する展示会を開催し、商品 PR をするとともに、現場医師から商品に対する評価や意見などを直接聴取する機会を提供する予定である。公益財団法人静岡県産業振興財団 平成 26 年度新成長産業戦略的育成事業に申請中である。

【出展予定の学会】

日本蘇生学会第 33 回大会

日 時 : 12 月 5 日、6 日の 2 日間

場 所 : アクトシティ浜松 コンgressセンター

メインテーマ: 災害時に何ができるか、どこまでやるのか?

○主催・共催によるセミナー、シンポジウム等

- ・メディカルイノベーションフォーラム 年 1 回
(拠点の成果報告、情報発信のための中心的会議)
- ・企業と医療現場との情報交換会 年 2 回
(現場医師の医療ニーズ・シーズの情報発信のための企業向け講演会)
- ・附属病院内見学会 (医療現場のニーズ・課題の発掘) 年 10 回程度
(病院の各部署見学による意見交換 定期的開催以外にも随時少人数で)
- ・学術研究会・勉強会・セミナー 年 3 回
(学内外の参加者による公開技術討論会・勉強会)

○大型イメージング装置のデモンストレーション

PET、MRI、CT など、研究用大型イメージング装置を、地域 (学外) の大学、研究所、企業に活用してもらうために、拠点で準備した対象物や持ち込みサンプルを撮像し、デモンストレーションやトライアルユースを行う。

○イベント出展

- ・MEDTEC Japan 2014 (4/9-11, 東京都)
- ・メディカルショージャパン 日本医療機器学会 (6/12-14, 新潟市)
- ・第 36 回日本呼吸療法医学会学術総会 (7/19-20, 秋田市)
- ・第 8 回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2014 (7/23-24, 浜松市)
- ・おおた研究・開発フェア (10/2-3, 東京都)
- ・ふじのくに新産業創出フェア (2 月, 静岡市)

3. 運営委員会等 会議開催状況

会議名称	開催日時	参加者	概要
事業運営委員会			
第1回事業運営委員会	平成25年5月24日 10時～12時	21名	・H24年度決算報告について ・H25年度新成長産業戦略育成事業（公募要領など）ほか ・H25年度修正予算案
第2回事業運営委員会	平成26年3月18日 10時～12時	22名	・H26年度事業計画案と予算案について ・その他
ワーキング会議			
第26回ワーキング会議	平25年4月16日 14時～16時	17名	・平成24年度事業報告・収支報告 ・平成25年度事業計画 ・第1回事業運営委員会 ほか
第27回ワーキング会議	平25年5月15日 10時～12時	14名	・平成24年度事業報告・決算報告 ・医工連携スタートアップ支援事業 ほか
第28回ワーキング会議	平25年7月9日 14時～16時	19名	・拠点ホームページ ・医療現場の情報交換会・見学会 ・地域間交流について ほか
第29回ワーキング会議	平25年9月10日 10時～12時	20名	・信州との拠点間交流会議2013 ・第3回おおた研究・開発フェア ・平成25年度スケジュールと次年度予算ほか
第30回ワーキング会議	平25年11月5日 14時～16時	19名	・H26年度静岡県助成事業の提案 ・メディカルイノベーションフォーラム2014 ・H25年度スケジュールと予算 ほか
第31回ワーキング会議	平26年1月21日 14時～16時	19名	・医工連携スタートアップ支援事業について ・拠点パンフレット作成についてほか
第32回ワーキング会議	平26年3月3日 14時～16時	14名	・メディカルイノベーションフォーラム2014 ・展示会の出展について ・H26年度予算・事業計画案 ほか

*拠点内事務局ミーティングは1～2回/月にて随時開催した。

4. 外部資金獲得状況

共同研究 2件

研究者所属機関	役職	研究者名	共同研究先	期間
浜松医科大学医学部 附属病院 整形外科	助教	小山博史	(株)上島電興社	平成25年8月1日 ～平成26年2月28日
浜松医科大学メディカル フォトリニクス研究センター	教授	山本清二	共同研究企業との秘密保持 契約により記載できません。	平成25年4月1日 ～平成26年3月31日

受託研究 9 件

事業名(委託機関等)	課題名・プロジェクト名	受託機関	役職	研究者名	受託金額	研究期間
橋渡し研究支援推進プログラム事業(文部科学省)	低侵襲手術支援システムの実用化開発と臨床研究	浜松医科大学	教授	山本清二	18,662 千円	平成 25 年 4 月 1 日 ～平成 26 年 3 月 31 日
研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)(JST)	顕微質量分析装置の活用・普及促進	浜松医科大学	助教	早坂孝宏	10,000 千円	平成 24 年 4 月 1 日 ～平成 26 年 3 月 31 日
研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム, シーズ育成)(JST)	新しい低侵襲微細手術を実現する直視・側視・斜視切換型高画質立体内視鏡の開発と実用性検証	浜松医科大学 永島医科器械(株)	教授	山本清二	2,730 千円	平成 25 年 12 月 1 日 ～平成 26 年 3 月 31 日
地域イノベーション創出研究開発事業(経済産業省)	内視鏡観察中心位置ナビゲーション装置のポータブル化および適応分野拡大実証開発(関東経産局)	浜松医科大学 (株)ソディアック 永島医科器械(株)	教授	山本清二	1,805 千円	平成 25 年 7 月 1 日 ～平成 26 年 3 月 31 日
	日本発の先進的内視鏡手術用ナビゲーターの国際連携による海外展開(グローバル技術連携支援事業補助金)(関東経産局)	永島医科器械(株) (株)アメリオ パルステック工業(株) (浜松医科大学)	教授	山本清二	869 千円	平成 25 年 5 月 16 日 ～平成 26 年 3 月 31 日
戦略的基盤技術高度化支援事業(経済産業省)	低侵襲内視鏡および顕微鏡手術支援 3D 超音波診断装置の開発(中部経産局)	浜松医科大学 (株)ソディアック 本多電子(株)	教授	山本清二	30,000 千円	平成 25 年 4 月 1 日 ～平成 26 年 3 月 31 日
保健医療分野における基礎研究推進事業(NIBIO)	レーザー血栓溶解治療システムの開発	浜松医科大学	教授	梅村和夫	28,000 千円	平成 25 年 4 月 1 日 ～平成 26 年 3 月 31 日
新成長産業研究開発助成事業助成金「事業化推進助成事業」(静岡県産業振興財団)	単純レントゲン写真のみで行う股関節動態シミュレーションシステム(ACX Dynamics)の開発	浜松医科大学 (株)上島電興社	助教	小山博史	5,000 千円	平成 25 年 8 月 1 日 ～平成 26 年 2 月 28 日
研究成果展開事業(A-STEP)(JST)	高い生体親和性を付加するためのレーザーによる立体造形と表面加工技術の研究	光産業創成大学院大学	講師	沖原伸一郎	3,000 千円	平成 24 年 11 月 01 日 ～平成 25 年 10 月 31 日

5.研究成果

論文発表 8件

論文名	掲載誌名等	掲載日・発表日等	研究者所属機関	役職	研究者名
Alterations in $\alpha 4\beta 2$ nicotinic receptors in cognitive decline in Alzheimer's etiopathology	Brain	136 (Pt10):3004-17, 2013	Hamamatsu Univ Sch Med, Hamamatsu Photonics kk		Okada H, Ouchi Y, Ogawa M, Futatsubashi M, Saito Y, Yoshikawa E, Terada T, Oboshi Y, Tsukada H, Ueki T, Watanabe M, Yamashita T, Magata Y
A review of the default mode network in aging and dementia based on molecular imaging	Rev Neurosci	23(3):263-8	Hamamatsu Univ Sch Med		Ouchi Y, Kikuchi M
急性期脳塞栓症治療を目的とした選択的レーザー栓除去システムの開発【先駆的医薬品・医療機器研究発掘支援事業（医薬基盤研究所）】	光アライアンス	24(12):61-63, 2013	浜松医科大学 浜松ホトニクス(株)		山下大輔, 玉置善紀, 清水良幸, 岡田裕之, 中山禎司, 松本祐直, 梅村和夫
レーザーによる頭蓋内血栓溶解システムの開発【先駆的医薬品・医療機器研究発掘支援事業（医薬基盤研究所）】	Thrombosis Medicine	3(2):83-87, 2013	浜松医科大学	助教	松本祐直
Histological imaging from speed-of-sound through tissues by scanning acoustic microscopy (SAM).	Protocol Exchange	http://www.nature.com/protocolexchange/protocols/2581	Hamamatsu Univ Sch Med		Miura K Yamamoto S
Scanning acoustic microscopy imaging of tongue squamous cell carcinomas discriminates speed-of-sound between lesions and	J Oral Maxillofacial Surg Med and Pathol	http://dx.doi.org/10.1016/j.ajoms.2013.07.004	Hamamatsu Univ Sch Med Hamamatsu Med Ctr Honda Electronics		Nakano H*, Naito K, Suzuki S, Naito K, Kobayashi K, Yamamoto S

healthy regions in the mucous epithelium.					
研究成果を社会へ医療現場のニーズから生まれた安全安心な内視鏡手術ナビゲーター	産学官連携ジャーナル	9:19-21, 2013	浜松医科大学		山本清二
Newly developed endoscopic surgical navigator demonstrating the position of the center in an endoscopic view	International Journal of Computer Assisted radiology and Surgery	8 Suppl 1:106-107, 2013	Hamamatsu Univ Sch Med		Yamamoto S Mineta H.

特許等出願件数 3件

発明等の名称	出願日	出願番号	出願人	発明者
可動支持アーム装置	平成 26 年 3 月 28 日	特願 2014-067392	浜松医科大学 (株)エヌエスティ	山本清二 河野 裕
内視鏡用フードおよび同内視鏡用フードを備えた内視鏡	平成 25 年 4 月 23 日	特願 2013-090155	浜松医科大学 ショーダテクトロン(株)	大澤 恵 山本清二 鈴木利定 大岡 要
立体視硬性内視鏡	平成 25 年 7 月 29 日	特願 2013-157205	浜松医科大学 永島医科器械(株) (株)ゾディアック	山本清二 永島毅志 齋藤 博 堀田 淳

6. 実用化実績

実用化実績 1件

研究者名	商品名	販売開始年月日	販売元企業名	商品情報 (URL 等)	備考
尾内 康臣、間賀田 泰寛、他 (浜松医科大学)	次世代 PET 診断システム用検出器モジュール	未定	浜松ホトニクス(株) (浜松市)	準備中 (未掲載)	新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) の「基礎研究から臨床研究への橋渡し促進技術開発」事業の成果

起業化実績 (該当なし)

企業名	代表者名	設立年月日	企業情報 (事業内容・URL 等)

企業誘致・立地実績（該当なし）

企業名	立地等年月日	立地場所	従業員数 (立地場所)	企業情報（事業内容・URL等）

7. 普及活動

成果発表会・講演会・セミナー等イベント（人材育成関連は除く）			
豊橋技術科学大学・福祉村病院 見学会	平成 25 年 4 月 17 日 10 時～17 時	38 名	対象者：企業、研究者、コーディネーター
医療現場の見学会 浜松医科大学附属病院 ①血液浄化部②リハビリテーション部	①平成 25 年 6 月 11 日 ②平成 25 年 6 月 24 日 17 時～18 時	①10 名 ②11 名	対象者：企業、コーディネーター
医療・介護現場との情報交換会 「浜松医科大学の医師、天竜厚生会の介護従事者に聞く」	平成 25 年 8 月 23 日 16 時半～20 時半	49 名	対象者：企業、研究者、コーディネーター
健康・医療産業参入のための薬事法対策セミナー「医療機器の部材提供、完成品開発に必要な知識を解説」2 回開催	①平成 25 年 11 月 6 日 ②平成 25 年 12 月 4 日 14 時～16 時	①36 名 ②31 名	対象者：企業、研究者、コーディネーター
医療・介護現場の見学会 ①天竜厚生会 ②浜松市医科大学附属病院 シュミレーションセンター	①平成 25 年 11 月 11 日 15 時～18 時 ②平成 25 年 11 月 13 日 16 時～17 時 15 分	①23 名 ②11 名	対象者：企業、コーディネーター
医療・介護現場との情報交換会 「浜松医科大学の医師から製品開発ヒントを得る」	平成 26 年 1 月 10 日 16 時半～20 時半	49 名	対象者：企業、研究者、コーディネーター
医療現場の見学会 浜松医科大学附属病院 リハビリテーション部	平成 26 年 1 月 27 日 17 時～	6 名	対象者：企業、コーディネーター
メディカルイノベーションフォーラム 2014	平成 26 年 2 月 27 日 14 時～18 時 15 分	112 名	対象者：企業、研究者、コーディネーター
医療現場の見学会 ①産婦人科/心臓外科 ②耳鼻咽喉科	①平成 26 年 3 月 10 日 16 時～17 時～18 時 ②平成 26 年 3 月 12 日 17 時～18 時	①7 名 ②8 名	対象者：企業、研究者、コーディネーター

8. 人材育成

人材育成関連（講習会・研修会等）			
レーザーによるものづくり中核人材育成講座 実習	平成 25 年 8 月 23 日 -10 月 5 日 平成 25 年 10 月 18 日 -12 月 7 日 9 時 45 分～17 時 15 分	延べ 40 名	対象：企業 概要：整備機器を活用した機器開発のできる人材を育成するレーザー実習
成長産業分野人材育成支援事業 「レーザー加工技術入門」実習	平成 25 年 12 月 4 日 9 時半～16 時半 平成 25 年 12 月 5 日 9 時～16 時	延べ 8 名	対象：企業 概要：整備機器を活用した機器開発のできる人材を育成するレーザー実習

9. 取材・報道状況

新聞・雑誌掲載 8件			
「浜松を光技術研究の先端都市に」 浜ホトと3大学連携	平成25年6月12日	中日新聞	
「浜松に光産業を集積」 次世代技術を共同研究	平成25年6月12日	日本経済新聞	
「浜松ホトニクスと3大学 連携」 光技術応用、産業育成	平成25年6月12日	静岡新聞	
「浜松の光産業育成へ連携」	平成25年6月12日	讀賣新聞	
「未知の部分が多く宝の山だ」 企業と大学の4者一技術と研究開発相互協力	平成25年6月12日	毎日新聞	
「光技術研究で産学連携」	平成25年6月12日	日刊工業新聞	
「光技術の拠点、浜松に」3大学と企業連携 研究や交流 ベンチャー育成	平成25年6月12日	朝日新聞	
「光技術で革新的イノベーション創出を」	平成25年12月20日	日刊工業新聞	
視察 10件			
事業説明と意見交換	平成25年7月26日	ジャフコ来訪	1名
事業説明と意見交換	平成25年7月30日	松本商工会議所 前澤課長ほか まつもと工業支援センター 早坂センター長ほか	9名
視察・事業説明と意見交換	平成25年11月5日	千葉県産業振興課	4名
事業説明 (インビュウ)	平成25年11月25日	三菱総研 人間・生活研究本部 山田シニアコンサルタントほか	2名
事業説明と意見交換	平成25年12月17日	秋田大学 産学推進機構 志賀准教授ほか	4名
事業説明と意見交換	平成25年12月19日	宇都宮大学 オプティクス教育研究センター	4名
意見交換	平成26年1月15日	静岡放送 (SBS) 西川氏来訪	1名
事業説明	平成26年2月6日	中小企業基盤整備機構東北本部 白井参事	1名
意見交換	平成26年2月13日	ドイツ研究振興協会 (DFG) 日本代表部 長谷氏 ドイツ協会代表フォイト氏	2名
事業説明・施設見学 および意見交換	平成26年3月31日	千葉大学 フロンティア医工学センター 伊藤センター長ほか	2名

10. 他拠点との連携等

○宇都宮・浜松地域間交流会

日 時：平成 25 年 4 月 24 日

場 所：東京ビッグサイト（東京都江東区）

内 容：MEDTEC Japan 2013

○信州地域技術メディカル展開センター開所記念式典

日 時：平成 25 年 5 月 10 日

場 所：信州大学松本キャンパス

内 容：交流イベント

○ファルマバレー・浜松拠点合同出展

日 時：平成 25 年 8 月 29 日～30 日

場 所：アクトシティ浜松・ホテルオークラアクトシティ浜松

内 容：第 54 回 日本人間ドック学会学術大会・出展

○宇都宮大学および自治医科大学交流

日 時：平成 25 年 9 月 11 日

場 所：宇都宮大学「オペティックス教育センター」

自治医科大学「地域医療情報研修センター」

内 容：両地域の活動報告並びに意見交換、講演

○浜松・信州拠点間交流会議 2013

日 時：平成 25 年 10 月 21 日～22 日

場 所：みやま荘、信州大学松本キャンパス（松本市）

内 容：両地域の活動報告並びに意見交換、企業

11. その他

○イベント出展

イベント等	開催日	開催場所
MEDTEC Japan2013	平成 25 年 4 月 24-25 日	東京都江東区
関東局 医工連携出合いの広場	平成 25 年 6 月 20-21 日	北海道札幌市
第 7 回 ビジネスマッチングはままつ	平成 25 年 7 月 23-24 日	浜松市
日本人間ドック学会学術大会	平成 25 年 8 月 29-30 日	浜松市
第 3 回 おおた研究・開発フェア	平成 25 年 10 月 3-4 日	東京都大田区
第 4 回 はままつメッセ 2014	平成 26 年 1 月 30-31 日	浜松市
ふじのくに新産業創出フェア	平成 26 年 2 月 4 日	沼津市

○文科省対話型ワークショップ

イベント等	開催日	開催場所
第1回 文科省対話型ワークショップ	平成25年9月30日	浜松市アクトコンgresセンター
第2回 文科省対話型ワークショップ	平成25年11月29日	浜松市アクトカンファレンスセンター
第3回 文科省対話型ワークショップ	平成25年12月20日	浜松市アクトカンファレンスセンター
第4回 文科省対話型ワークショップ	平成26年1月23日	浜松市アクトカンファレンスセンター
第5回 文科省対話型ワークショップ	平成26年2月27日	グランドホテル浜松
第6回 文科省対話型ワークショップ	平成26年3月17日	浜松市アクトカンファレンスセンター